

第2次豊後大野市男女共同参画基本計画に係る実施報告（平成28年度）

基本目標Ⅰ 男女平等をめざした人づくり

重点目標	施策	施作の方向	関係課等	実施状況（事業内容・参加人数等）	事業効果・課題
重点目標1 男女共同参画意識の浸透	① 市行政刊行物などの表現の見直し	広報、刊行物や放送内容の用語やイラストなどの表現について、男女平等の視点に立って作成する。	全庁	<p>【議会事務局】 議会だよりの発行（年4回）</p> <p>【朝地支所】 支所独自の刊行物や音声告知放送の原稿について、男女平等の視点に立って作成した。また、誤解を招くような表現がないか、支所職員全員に回覧してチェックしてもらった。</p> <p>【大野支所】 支所独自の刊行物等は少ないが、発行するには人権に配慮した内容になっているかを確認した。</p>	<p>【朝地支所】 特に問題はなかった。</p> <p>【大野支所】 特に問題はなかった。</p>
	② 男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供	<p>男女共同参画に関する様々な情報を収集し、市報や男女共同参画だより等により情報を提供する。</p> <p>男女共同参画関連の図書資料を提供する。</p>	<p>人権推進 同和対策課</p> <p>社会教育課</p>	<p>・各講座、イベント等について、市報やHP、ケーブルテレビを利用し情報提供を行った。</p> <p>・男女共同参画だより『ハーモニー』を年2回発行。全戸回覧をした。11月1日・3月31日発行。</p> <p>・豊後大野市図書館で、男女共同参画に関する本の配架をしている。</p> <p>・6月に開催された男女共同参画市民のつどいにおいて、男女共同参画に関する図書の案内チラシを作成し参加者に配付した。</p>	<p>・各講座やイベントに、市報やHP、ケーブルテレビを見て参加したという方が増えてきた。</p> <p>・HPの情報が古いものが残っていたりするので、整理が必要。</p> <p>・『ハーモニー』の発行により、男女共同参画推進活動を知ってもらうことができた。</p> <p>図書利用のニーズに対応することができた。</p>
	③ 男女共同参画週間等における啓発事業の実施	男女共同参画市民のつどいをはじめとする啓発事業を実施する。	人権推進 同和対策課	<p>・男女共同参画週間街頭キャンペーン 日時：平成28年6月24日（金） 場所：緒方町（フレイン緒方店） 三重町（トキハ、トライアル三重店） 内容：啓発物品（絆創膏、チラシ等）200部配布 参加者：推進委員5名 職員4名</p> <p>・第11回男女共同参画市民のつどい 日時：平成28年6月26日（日） 10時～12時 場所：エイトピアおおの小ホール 講演：高崎山のサル社会 講師：高崎山自然動物園 藤田忠盛さん 参加者：一般参加者225人</p> <p>・第7回ぶんごおおの癒しのコンサート 日時：11月23日（水・祝）14時～ 場所：エイトピアおおの小ホール 出演者：5団体15人 参加者：一般130人 ※実行委員8名・事務局3名で、8回の実行委員会を開催 ※コンサート当日、来場者に、女性人材リスト登録者及び生徒、隣保館事業の教室生の絵手紙配付</p>	<p>・男女共同参画週間街頭キャンペーン 男女共同参画週間のチラシと併せ、市民のつどいのチラシを配布。 今年は緒方と三重に絞り、他町は各支所での啓発対応とした。買い物客が多い緒方と三重で多くのPRができた。</p> <p>・第11回男女共同参画市民のつどい 講演会前に、平成28年3月に策定した、第2次豊後大野市男女共同参画基本計画の紹介をした。 アンケート結果では、講演会は概ね好評であった。参加者は、各団体からの要請が多く、今後は、団体に所属していない方に参加してもらうなど、広がりを持たせる必要がある。</p> <p>・第7回ぶんごおおの癒しのコンサート 実行委員との連携もよく、8回の実行委員会の開催を通していいコンサートができた。来場者からも好評だったが、まだまだ周知が足りていないようなので、たくさんの人に来てもらえるよう今後さらにPRをしていく必要がある。</p>

重点目標2 男女平等教育・啓発の推進	① 男女共同参画社会実現に向けた啓発講座の開催	地域や市民グループ、企業に対して男女平等学習の企画や講師派遣等を行う。	人権推進 同和対策課 (支所)	【人権推進同和対策課】 ・講師派遣 緒方地区民生児童委員協議会 日時：9月30日(金) 場所：緒方支所 内容：高齢者の男女共同参画について 講師：豊後大野市人権講師・女性人材リスト登録者 神田幸子さん		
		公民館の連続講座において、保護者等を対象に男女共同参画の理解を図る。 地域人権教育啓発推進協議会において、男女共同参画の推進を図る。		【朝地支所】 朝地町人権を守る市民のつどい開催 日時：平成29年1月29日 9時～11時30分 場所：朝地公民館ホール 講演：誰もがひとり分の人生を 講師：大分県人権問題研究講師 小野祥美 参加者：一般42人 豊後大野市朝地町地域人権教育・啓発推進協議会及び豊後大野市女性団体連絡協議会朝地支部との共催	【朝地支所】 ・音声告知放送と自治会文書(班回覧)で周知した。併せて、託児についても案内した。(託児申込者0名) ・つどいの中で、女性団体朝地支部の年間活動計画と、市女性大会の申し合わせ事項を紹介した。 ・アンケートを実施したところ、講演内容や運営全般について「よかった」との声が多かった。 ・参加者が偏ってきているのが課題。特に若い世代の参加が少ないので、PTAなどの機会を利用して早めに呼びかける必要がある。	
	② 男女平等保育の充実	豊後大野市合同幼児教育研修会において男女平等教育の研修を行う。	学校教育課	第1回研修会 33名参加 第2回研修会 19名参加 第3回研修会 23名参加	教育課程研究協議会テーマについて 教育課程研究協議会に係る保育実践 教育課程研究協議会大分県大会の報告及び協議	幼児教育の基本である「仲よく遊ぶ活動」を通して、男女平等教育が行われた。実際の保育参観や事後研究会、各種研修の報告会を通して、男女平等の教育をどうすすめるかを研修できた。参加者が固定化しないようにしなければならない。
		③ 男女平等教育の推進		総合教育計画に基づいた男女平等教育の推進を図る。	学校教育課	すべての小中学校で、男女平等教育年間指導計画に基づいた教育活動がなされた。
	④ 教職員等に対する研修の充実	保育士、教職員等を対象に男女共同参画に関する研修を実施する。	学校教育課	すべての小中学校の校内研修の中で、セクシュアルハラスメントや不適切な性別役割分担の研修が実施された。		研修は、年間計画に位置付けられ計画的に実施されているため、大きな問題は起こっていない。
			社会教育課	本年度は実施なし。		
⑤ 生涯学習活動における男女共同参画の啓発	学習会や講座、講習会等の開催時に男女共同参画啓発の機会を図る。	社会教育課	・女性学級…地域婦人団体会員他、通年 ・豊後大野っ子を育てる市民のつどい 日時：11月5日開催 講師：助産師・思春期保健相談士 内田美智子氏 「奇跡の命を生きる子どもたちと見守り支えていく大人」 ※青少年健全育成市民会議・教育委員会主催	PTA連合会・市教育協会・市食育推進協議会との共催で実施したことで、多くの方の参加が得られた。 生まれてこなかった命、食と生命などについて学んだ。		
⑥ 高等学校等への男女共同参画に関する情報の提供	高等学校等への男女共同参画に関する情報を積極的に提供するとともに、各種講演会等への参加を呼び掛ける。	人権推進 同和対策課	市民のつどいの際に、三重総合高校の学生に「豊後大野市男女共同参画宣言」の朗読をしてもらった。 また「女性のための護身術講座」など、講座への参加を呼びかけた。	今後、高校生を対象にした講座等を検討したい。		

基本目標Ⅱ 男女共同参画社会実現のための環境づくり

重点目標	施策	施作の方向	関係課等	評価	
重点目標1 仕事と生活の調和の推進	① 家庭生活における男女共同参画の推進	男女が共に支える家庭生活のための啓発を行う。 父親の子育て参加を促進する講座等を開催する。 講演会・親子交流事業等男性が参加しやすい学習の機会を提供する。 男性が参加しやすい家事、介護等の講習会等を実施する。	人権推進 同和対策課	若い母親・父親が参加しやすいように、講演会や講座の際には必ず託児サービスを行い、ほとんどの回で申し込み・利用があった。	講座の内容によって、託児サービスの利用者数にバラつきはあるものの、毎回申し込みがありその必要性を感じる。今後、他課の事業における託児サービスの状況を把握し、取り入れるよう働きかけたい。
			社会福祉課	・子育て支援センター交流事業「なかよしこよしのつどい」開催 日時：平成28年11月9日 9時30分～12時 場所：大原総合体育館メインアリーナ 内容：親子で楽しむ運動遊び 3日体操指導者 芦刈章子氏 参加者：親子59組（保護者59名 乳幼児82名 計141名） ・男性の子育て支援事業開催 各子育て支援センター（市内5か所）で開催 ・母子手帳交付時に啓発冊子「楽しむイクボン」配布 ・乳児全戸訪問時に「パパの子育て応援マンガ本」配布	男性の育児参加についての理解や関心を深めることができた。
			市民生活課	・ババママひろばの実施・・・年4回 ・すくすくひろばの実施・・・月1回 ・愛育会（親子交流事業）	父親が子育てに関する事業に参加することで、家庭生活における男女共同参画の推進ができた。
			社会教育課	公民館クラブ活動を通し、男性の家事参加や生きがいがづくりなどを支援した。	男性料理教室の活動を通して、料理をはじめとする家事参加の機会を提供できた。
			高齢者福祉課	・自立した日常生活ができる仕組みづくりとして、男性が食べることで元気になることを目的とした「元気もんシェフ拡大事業」を月2回（カレーの日、だんご汁の日）実施した。 ・元気もんシェフをサロン等に派遣し、男性の活躍の場を広げる「元気もんシェフ派遣事業」を実施した。	・地域包括ケア拠点施設ひたぼっこで開催される「元気もんカフェ」は、毎回約40名の来訪者があり、中には子ども連れの方もいて、よい交流スペースとなっている。 ・派遣事業は好評であり、シェフ（男性）がいきいきしている。また、派遣先ではシェフが調理をすることにより裏方であった女性が行事に参加できるようになった。
	② 働く場における男女共同参画意識の啓発、情報提供	事業所等に対し、関係機関と連携して多様な働き方に関する情報の提供を行う。 関係団体と連携して事業所訪問等により法令の周知、情報提供を行う。 男女共同参画を推進する事業所をホームページ等において紹介する。 競争入札参加登録業者に対し、法令の周知や情報の提供を行う。 職業生活に必要な様々な分野に関する相談・情報提供ができる体制を検討する。	商工観光課	商工会等に対して、資料等情報の提供を行った。	
			人権推進 同和対策課	・企業訪問 日時：11月25日（金） 訪問先：トライアル三重店 訪問者：竹田人権擁護委員協議会男女共同参画推進専門部会 市男女共同参画係 ※採用・就業状況、女性の管理職の割合などを聞き取り、男女共同参画施策への協力を依頼した。 ・講座等の案内 市で開催する講座等について、市内事業所にチラシを送付し参加を呼びかけた。	豊後大野市（三重町）に次々と店舗がオープンしているが、企業訪問の依頼を受け入れてもらえない所が多い。今後も引き続き市内の事業者に対して法令の周知、情報提供をして行く。
			財政課	ホームページ「競争入札参加資格審査申請受付について」のサイトへ第2次豊後大野市男女共同参画基本計画を掲載し、法令等の周知、情報の提供を行った。 掲載期日：平成28年12月1日～現在まで	現在、競争入札参加資格審査申請時に「男女共同参画推進の取組状況報告書」の提出依頼を検討中である。

重点目標1 仕事と生活の調和の推進	③ 自営業における男女共同参画の推進	関係団体に男女共同参画意識啓発、情報提供を行う。	農業振興課	農林業の経営が家族の話し合いと男女の共同参画によって充実と成長していくために家族経営協定を推進している。	28年度は、8組の家族経営協定を締結し、うち1組が親子で、4組が夫婦間の家族経営協定が締結でき、共同経営的な経営ができるようになった。 ・女性農業者及び女性農業委員の活動及び役割について紹介ができた。 ・農地集積事業について、組織からの要望・意見が積極的に出された。
			農業委員会	・広報紙「豊後大野市農業委員会だより」を年2回（15号・9月1日発行、16号・3月1日発行）全戸配布し、15号では家族経営協定について、また16号では女性農業委員研修会参加について掲載した。 ・9月16日の「農業者団体代表者と農業委員の意見交換会」に、おおいたAFF女性ネットワークより2名の参加があった。	
			農林整備課	実施なし	
			商工観光課		
④ 育児・介護支援体制の充実	豊後大野市キラキラこどもプランに基づいた育児支援の充実を図る。 地域包括支援センターを中心に介護支援相談対応の充実を図る。	社会福祉課	豊後大野市子ども・子育て会議にて、地域子ども・子育て支援事業の実施状況について報告した。	地域子ども・子育て支援事業の各年度の見込みに対する実施状況を確認し、計画変更の必要性について確認することができた。 ・迅速な対応ができた。 ・若年性認知症の講演会で、介護者である妻の体験談は、参加者によく伝わり励みとなった。	
		高齢者福祉課	・地域包括支援センターの職員を増員し、介護支援相談対応の充実を図った。 ・市民向け介護研修会を実施した。		
重点目標2 健康で安心して暮らせる環境づくり	① 生涯を通じた心身の健康支援	年代に応じた健康づくりができるよう相談会や研修会を実施する。 女性特有の病気の予防、早期発見に取り組む。 心の健康づくりに関する相談窓口の充実を図る。	市民生活課	・心の健康教室の開催・・・15回 ・レディース検診（女性特有のガン検診）・・・年4回 ・こころのホットライン・・・専門の相談員の配置（2月末現在の実績226件）	生涯を通じた心身の健康支援を行うそれぞれの事業実施により、健康で安心して暮らせる環境づくりの推進ができた。
	② 妊娠・出産・育児期における支援と相談の充実	妊娠・出産に関する情報提供や健康診査、保健指導、乳幼児健診などの充実を図る。	市民生活課	・パパママひろばの実施・・・年4回 ・すくすくひろばの実施・・・月1回 ・幼児健診（1歳半・3歳半）の実施・・・月1回	妊娠・出産・育児期における支援と相談の充実のための各種事業実施により、健康で安心して暮らせる環境づくりの推進ができた。 ・必要とする子育て支援事業につなげることができた。 ・身近な場所で子育てに関する相談ができた。
			社会福祉課	・子育て支援に関する情報提供と相談 実施場所：子育て支援係窓口、児童館（市内5か所）、子育て支援センター（市内5か所） ・育児・発達相談の実施 実施場所：子育て支援センター（市内5か所） 内容：保健師による相談、身体測定等	
③ 性と生殖に関する健康と権利の啓発	性教育カリキュラムによる指導の充実を図る。	学校教育課	性に関する指導については、小中すべての学校ごとに作成されている全体計画や年間指導計画に基づき、実施できた。	小学校低学年のころからの発達段階に応じた指導により、性に関する指導の積み上げができた。	

重点目標3 様々な困難をかかえる市民への支援	①	ひとり親家庭の自立支援	母子父子自立支援員を配置し、相談、情報提供を行う。 子育て世帯に対して公営住宅入居の優遇措置を行う。	社会福祉課 ----- 建設課	母子父子自立支援員を配置し、相談・情報提供を行った。	ひとり親家庭からの多岐にわたる相談を受け、必要な情報を提供してきた。相談業務が増加しており、内容も難しいものが多いため、母子父子自立支援員への負担が大きくなっていることが課題である。
	②	高齢者や障がい者等の生活支援	シルバー人材センター援助育成により、社会参加の促進を図る。 地域包括支援センターを中心に生活支援相談対応の充実を図る。 地域自立支援協議会を中心に関係機関と連携し、自立支援サービスの拡充に努める。	商工観光課	高齢者の安定雇用の創出のために、豊肥地域シルバー人材センターの運営に対して補助金を支出することにより、就業機会の確保及び社会参加の促進を図った。	・迅速な対応ができた。 ・住まいに困っている方を救済できた。また、自立に向けての支援も行っている。 ・いきいき生活応援隊員38名が追加された。
				高齢者福祉課 ----- 社会福祉課	・地域包括支援センターの職員を増員し、臨機応変な対応ができるよう相談機能の充実を図った。 ・低所得高齢者等、住まい・生活支援モデル事業を実施した。 ・いきいき生活応援隊員の養成を行った。 相談・児童・成人の各部会を中心に、関係機関の連携を密にして地域の課題を把握し、個々のケースに対応できる専門的な情報提供を行う。児童部会では、冊子「ちごおてんいいやん」を作成し全戸配布。	
③	性的少数者等に対する理解の推進	性的少数者や複合的に困難な状況におかれている人々の相談体制を整備するとともに理解の推進を図る。	人権推進 同和対策課	今年度の取組はしていない	講演会の際のアンケートに、性別に印をつける欄について「LGBTの人はどう書けばいいのか」との記載があった。今後、検討すべき課題。	
重点目標4 暴力を許さない環境づくり	①	あらゆる暴力をなくす広報、啓発活動の推進	家庭や地域、職場等におけるあらゆる暴力の防止について広報啓発を行う。	人権推進 同和対策課	女性に対する暴力をなくす運動キャンペーン 日時：11月13日(日) 場所：フレッシュランドみえ(ふるさとまつり会場) 内容：啓発物品(ティッシュ、チラシ等)200部配布 参加者：推進委員4名 職員3名	例年、各町で行っていたが、日中は人通りも少ないため、今年度はふるさと祭り会場で行った。 若い人から高齢者まで、男女問わずたくさんの人に対して声かけができた。
	②	人権尊重に向けた啓発の強化	事業主や働く人に対して、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等防止のための啓発を行う。 「人権教育・啓発基本計画」に基づいた啓発活動を強化する。	人権推進 同和対策課	・講師紹介(県に講師派遣依頼) 連合大分豊肥地域協議会主催 2016男女平等社会の実現に向けた研修会 日時：6月20日(月) 場所：豊後大野市教育会館 講師：社会保険労務士 キャリアカウンセラー 西村慶治 講演：職場におけるハラスメント防止と対策について ～活力ある職場づくり～ 参加者：連合豊肥地協組合員 約100名	連合大分豊肥地協から講師紹介(派遣)依頼があったため、県の講師派遣事業を利用し、講師派遣をしてもらった。 今後も、様々な事業所や団体に対して講師派遣などの情報を提供をし、研修に取り組んでもらうよう依頼していく必要がある。
	③	相談窓口に関する情報の提供	相談窓口に関する情報の提供および被害者に配慮した相談対応を行う。	人権推進 同和対策課	DV関係課連携会議を開催 日時：2月13日(月) 場所：401会議室 出席者：学校教育課・建設課・市民生活課・社会福祉課・人権同和対策課の関係係長及び課長(補佐) 内容：豊後大野市におけるDV相談の現状について情報を共有。また、各課の役割について再確認を行った。	相談があった際に迅速な対応ができるよう、関係課の連携強化が必要。 今後、担当者レベルでの情報・意識の共有、対応の強化についても進めていく。
高齢者福祉課				・地域包括支援センターについで、迅速に早期発見、相談対応を行っている。 ・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、各機関との連携を深めている。	・高齢者虐待の情報がよせられたら、地域包括支援センターと連携し、早期発見、相談対応を行い、必要に応じて施設への措置等をおこなった。 ・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、関係機関と連携を深めることができた。	

重点目標4 暴力を許さない環境づくり	③	相談窓口に関する情報の提供	相談窓口に関する情報の提供および被害者に配慮した相談対応を行う。	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぶんごおおの子育てキラキラマップ」にて相談窓口に関する情報を提供。 ・障がい者が自立した生活を営めるよう、相談支援事業所体制が有効に機能し、サービスの質の向上につながるよう適切な指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぶんごおおの子育てキラキラマップ」をインデックスタイプに変更し、相談窓口を探しやすくなった。 ・最新の相談窓口の周知(市ホームページ掲載等)を図る必要がある。
				学校教育課	各小中学校にて管理職を中心に相談を受ける体制を整えている。暴力に関する情報提供としては、県主催DV研修会案内を行った。	学校に対して、子どもが受けた暴力に対する相談が寄せられ、学校で対応し、解決することができた。
				商工観光課		
				市民生活課	住民票・戸籍抄本の交付制限を行っている。	相談窓口に関する情報の提供および被害者に配慮した相談対応を実施したことにより、暴力を許さない環境づくりの推進ができた。
				支所	【清川支所】 窓口にて相談を受けた場合、毎月の行政相談日に人権相談も同時開催し、会場も同じ場所で行っていることから、相談者にそちらの相談日の方に行くように進めている。	特にない
					【緒方支所】 窓口にて相談を受けた場合、毎月の行政相談日の案内や、場合によっては司法書士などの専門家に相談するように対応した。	【緒方支所】 司法書士に相談したという方から後日解決した報告を受け、喜んでいただけた。
					【朝地支所】 実際の相談はなかったが、支所内のカウンターやトイレなど、市民が広く利用する場所に、相談窓口に関するリーフレットを配置し情報提供を行った。 本庁や関係機関と連携を取り、被害者に配慮した適切な相談対応ができる体制づくりに努めた。	【朝地支所】 実際に相談があった場合、適切に対応できるように、普段から必要な情報については支所職員で共有する体制づくりが必要。
					【大野支所】 窓口などにパンフレット等を置き啓発に努めた。	特にない
【千歳支所】 パンフレット等を窓口を設置し、相談窓口の周知を図った。	【千歳支所】 相談内容に応じ、関係機関と連携を図り、相談体制を確認し、必要な支援を行う。					
【犬飼支所】 市民室にパンフレット等を設置して情報提供を行った。						

基本目標Ⅲ 配偶者等に対する暴力の根絶（豊後大野市DV対策基本計画）

重点目標	施策	施作の方向	関係課等	評価	
重点目標1 暴力の根絶と被害者支援	① DVやセクハラ等の防止に向けた意識啓発	DVやセクハラ、ストーカー行為等の暴力防止に関する啓発・研修を行う。 DV等について発達段階に応じた学習を行う。	人権推進 同和対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための護身術講座 日時：12月20日（火）18時30分～ 場所：中央公民館 視聴覚室 指導：ALSOK大分支社 内田万市さん 折口鈴佳さん 内容：講義…自分の身を守るための生活の中での注意点 実践…手を掴まれたり、抱きつかれたときに逃げるための実践 事務局から…暴力の根絶と被害者支援について 参加者：一般20名 事務局3名 ・新成人への啓発 1月8日、成人式の際に、リーフレット『デートDVって何だろう？』を配付。 	護身術講座は初めての試みだったが、参加者からは好評だった。今後も継続していく必要性を感じた。今年度は年末の開催だったが、犯罪が増える夏や、独り暮らしが増え始める前の年度末など、開催時期について検討したい。
			学校教育課	全中学校で、デートDVまたは異性とのかかわり等に関する指導が行われた。	各中学校において、男女の望ましい人間関係を築いていくためには、相手を理解し人格を尊重する態度が必要であることを考えさせることができた。
	② DV被害者に対する相談体制の充実	多様化、複雑化する相談内容に対応できるよう研修に参加する。 相談窓口体制の整備を図る。	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等へ積極的に参加し、スキルアップに繋がった。 ・こども支援室に家庭相談員・母子自立支援員・保健師を配置し相談窓口体制の整備を図った。 	スキルアップの向上、窓口体制の整備はできつつあるが、困難ケースが多い。
			人権推進 同和対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等へ参加し、他市の状況等を知る事ができた。 ・DV関係課連携会議を開催し、他課との情報共有ができた。 	今後、他課との連携を強化し、迅速な対応ができる体制整備を図る必要がある。
	③ DV被害者に対する自立支援の体制づくり	関係機関との連携を強化し、解決に向けた支援に努める。	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、被害者へ求人情報を伝えたり、ハローワークに同行するなど、自立に向けた支援を行った。 ・DV連絡会議を開催し、連携を図った。 	関係機関の連携を強化した。今後も引き続き連携に努める。
			支所	<p>【朝地支所】 実際の相談はなかったが、本庁や関係機関との連携を強化し、支援体制づくりに努めた。知識を深めるための研修会には参加できなかった。</p>	【朝地支所】 実際に相談があった場合、適切に対応できるように、普段から必要な情報については支所職員で共有する体制づくりや、研修会に参加しやすい環境づくりが必要。
<p>【大野支所】 相談があった際には、適切なアドバイスを行いその後の手続きにつなげていった。</p>				【大野支所】 生活の中での不安等が少しでも解消できたのではないかと思われる。	
<p>【千歳支所】 地区担当保健師と関係機関と連携を図り、ケース会議を開きながら迅速に支援を行う。住民基本台帳事務におけるDV支援措置を行った。窓口にDVのパンフレット・相談窓口の案内等を設置し、相談窓口の周知を図った。</p>					
<p>【犬飼支所】 窓口で相談があれば本庁と連携し対応する。</p>	【犬飼支所】 窓口での相談なし。				

基本目標Ⅳ 男女がともに参画するまちづくり

重点目標	施策	施作の方向	関係課等		評価
重点目標1 政策・方針決定への女性の参画拡大	① 審議会等への女性の登用の促進	審議会等における女性委員の登用率50%をめざし、積極的に登用の促進を図る。	全庁	<p>【人権推進同和対策課】 全課に対し、審議会等における女性委員の登用について要請した。平成28年4月1日時点での登用率調査の結果、39.6%と、年々増加している。 委員の選出について、職指定がされているものがないか、各条例・規則等を調査。聞き取りなどをしながら、役職指定がされているものについては見直しについて依頼した。</p>	<p>【人権推進同和対策課】 女性委員の登用について、聞き取りの中で、条例等では役職指定はされていないものの、会の特性上、役職員が好ましいとされるものや、役職員の選出が慣例化しているものがあった。 引き続き、各審議会等が男女のバランスが取れた組織になるよう、役職に固執することのない委員選出について協力を依頼していく。</p>
				<p>【建設課】 都市計画審議会委員の選定については役職指定をせず現在女性委員2名。</p>	
				<p>【社会福祉課】 ・民生委員推薦会においては、委員14名中、女性委員7名で登用率50%だった。 ・豊後大野市子ども・子育て会議においては、委員14名中、女性委員8名で登用率57%だった。</p>	<p>【社会福祉課】 各団体から委員の推薦依頼をする際に、女性委員の選任をお願いしている。</p>
				<p>【商工観光課】 女性員の登用なし</p>	<p>【商工観光課】 各団体からの委員選任の際、女性委員の選出依頼について検討中。</p>
				<p>【上下水道課】 水道事業運営協議会委員選考にあたり、使用者代表には女性を登用するよう配慮した。</p>	<p>【上下水道課】 使用者代表6名中5名が女性となった。</p>
					<p>【議会事務局】 全議員2名のうち女性1名</p>
				<p>【教育委員会総務課】 学校教育審議会については、諮問機関であるので現行の開催はない。今後、開催時は女性登用の配慮をする。</p>	<p>【教育委員会総務課】 今年度の開催はなかった。次年度開催が見込まれるので、その際に配慮を行う。</p>
<p>【社会教育課】 社会教育委員会議…13名中女性委員8名 図書館協議会…9名中女性委員5名 地方文化財保護審議会…0名 歴史民俗資料館運営審議会…5名中女性委員2名</p>	<p>【社会教育課】 社会教育委員及び図書館協議会については、女性委員が過半数を占めているが、歴史民俗資料館運営協議会は半数に達していない。</p>				

重点目標 1 政策・方針決定への女性の参画拡大	② 各種委員会における女性の参画の促進	各種委員会において男女のバランスについて配慮する。	全庁	<p>【教委総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員については、現行委員5名（教育長を含む）のうち3名は女性である。今後の人選時でも継続的に配慮する。 ・学校給食運営委員会については、現年度では8名のうち5名が女性であるが、充て職又は輪番等であるため、男女の指定が難しい状況である。 	<p>【教育委員会総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行教育委員は女性が過半数を超え、バランスが取れている。しかしながら、次年度5/31からは、教育長は経過措置終了により特別職となり、教育委員は4名となる。引き続き、改選時に男女バランスに配慮していく必要がある。 ・学校給食運営委員会委員については、本年度バランスが保たれた。充て職等により難しい部分はあるが、引き続き、選出時に配慮をお願いする。
				<p>【市民生活課】</p> <p>豊後大野市国民健康保険運営協議会において男女のバランスについて配慮した。</p>	<p>【市民生活課】</p> <p>豊後大野市国民健康保険運営協議会委員13名中女性委員6名。</p>
				<p>【環境衛生課】</p> <p>環境衛生委員の各自治区への推薦依頼に際し、依頼文書に、女性登用の積極的な配慮について記載し、女性委員の推薦を促します。</p>	<p>【環境衛生課】</p> <p>委員206名中女性委員37名委嘱。</p>
				<p>【社会福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の地域福祉計画策定委員会においては、委員17名中、女性委員は6名だった。 ・平成28年度豊後大野市障害者自立支援認定審査会委員の女性委員の登用率60%。 	<p>【社会福祉課】</p> <p>各団体へ委員の推薦依頼を行い、女性の選任もお願いしたが男性が多かった。今後も継続して登用していく。</p>
				<p>【商工観光課】</p> <p>女性員の登用なし</p>	<p>【商工観光課】</p> <p>各団体からの委員選任の際、女性委員の選出依頼について検討中。</p>
				<p>【建設課】</p> <p>都市計画審議会委員の選定については役職指定をせず、現在女性委員2名。</p>	
					<p>【上下水道課】</p> <p>役職指定の委員については困難。</p>
					<p>【議会事務局】</p> <p>全議員22名のうち女性1名。</p>
				<p>【清川支所】</p> <p>清川町地域人権教育啓発推進協議会14名中5名が女性。女性の参加は過半数以下であるため、役員会で女性の参加を呼びかけている。</p>	
				<p>【千歳支所】</p> <p>地域人権教育啓発推進協議会14名中5名が女性。地域福祉活動に携わっている民生児童委員については、9名中6名が女性である。</p>	
<p>【犬飼支所】</p> <p>犬飼町地域人権教育啓発推進協議会12名中8名が女性であり、過半数を上回っている。</p> <p>どんこ釣り大会実行委員会21名中女性は3名である。</p>					

<p>重点目標 1 政策・方針決定への女性の参画拡大</p>	<p>③</p>	<p>男女共同参画を担う人材育成の充実</p>	<p>女性の人材に関する情報の収集、提供を行うとともに人材育成のための研修等を行う。</p>	<p>人権推進 同和対策課</p>	<p>◆女性人材リストの活用 ・平成28年度登録者数：98名 15団体 登録者の紹介依頼が数件あり、紹介をした。</p> <p>・女性人材リスト登録者学習会 日時：11月30日（水）18時30分～ 場所：中央公民館 第1会議室 講師：日本ほめる達人協会特別認定講師 竹下幸喜さん 参加者：人材リスト登録者6名 一般5名 事務局3名</p> <p>・女性人材リスト登録者交流会 日時：3月12日（日）10時～ 場所：中央公民館 第1会議室 内容：活動報告 交流 参加者：人材リスト登録者7名 事務局3名</p> <p>◆「大分県女性のチャレンジ賞」への推薦・表彰 「企業、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人及び女性団体・グループを表彰することにより、女性のチャレンジの身近なモデル等を示すとともに、男女共同参画社会づくりに対する関心と意欲を高め、男女共同参画社会の形成の促進に資するもの」 《授賞式》 日時：2月20日（月） 場所：大分県庁 受賞者：株式会社「成美」（犬飼町） 代表取締役 岩切知美さん</p>	<p>◆女性人材リスト ・リストの活用について、もっと広い範囲でPRしていく必要がある。市内業者や各地域のサロン等にお知らせしていきたい。</p> <p>・学習会は一般参加の希望者もあり、学習しながらも交流ができ、参加者からは好評だった。内容的にも、人材育成につながるいいものだった。</p> <p>・交流会は、参加者が少なかったものの、お互いの活動を楽しく発表したり、作品を持ち寄るなどしていい交流会となった。この交流を活かし、今後登録者の活動を広げて行けるようにしていきたい。</p> <p>学習会も交流会も、もっと多くの人に参加してもらえるよう工夫が必要。</p> <p>◆女性のチャレンジ賞表彰 今後も、豊後大野市内で活躍している女性の情報収集をして行く。</p>
------------------------------------	----------	-------------------------	--	-----------------------	--	--

<p>重点目標2 地域における男女共同参画の推進</p>	<p>① 男女の地域活動への参画推進</p>	<p>自治会やまちづくり協議会において男女共同参画の情報を提供する。</p> <p>男女が互いに支え合う地域社会の実現をめざして取り組む団体を支援する。</p> <p>講演会や講習会等における託児を実施し、男女がともに参画できる機会を提供する。</p>	<p>総務課 人権推進 同和対策課</p>	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会への文書等において、男女共同参画だより『ハーモニー』などを回覧した。 第11回男女共同参画市民のつどいに参加した。 <hr/> <p>【人権推進同和対策課】</p> <p>◆男女共同参画市民講座の開催（共催：女性団体連絡協議会）</p> <p>◁目的＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の推進 豊後大野市女性人材リストの活用 男女共同参画の実践の場である地域づくり 女性団体連絡協議会との連携 <p>①野菜ソムリエから教わるお正月料理 日時：12月13日（火）18時～ 場所：中央公民館 調理室 講師：ぶんごおおの野菜ソムリエクラブ 平山真由美さん 河野みゆきさん 参加者：一般参加25名 女団連3名 事務局2名</p> <p>②地域おこし協力隊の活動を知ろう 日時：1月19日（木）19時～ 場所：中央公民館 視聴覚室 地域おこし協力隊員 5名 参加者：一般参加20名 女団連5名 まちづくり推進課3名 事務局1名</p> <p>③かわいいひな飾りをつくる 日時：2月15日（水）19時～ 場所：中央公民館 第1会議室 講師：女性人材リスト登録者 森迫喜代美さん 参加者：一般参加10名 女団連4名 事務局1名</p> <p>◆転入女性のための交流会（共催：チームみまもりたい○）</p> <p>①ピザづくりとおしゃべりタイム 日時：5月26日（木）10時～ 場所：中央公民館 調理室 参加者：13名・子ども12名（託児含む） スタッフ5名 事務局2名</p> <p>②夏野菜カレー作りとおしゃべりタイム 日時：8月23日（火）10時～ 場所：中央公民館 調理室 参加者：一般参加8名・子ども7名（託児含む） スタッフ5名 事務局2名</p> <p>③クリスマス飾りづくりとおしゃべりタイム 日時：11月29日（火）10時～ 場所：中央公民館 第1会議室 講師：川上由美さん（佐伯市） 参加者：一般参加9名・子ども10名（託児含む） スタッフ4名 事務局2名</p>	<p>【総務課】</p> <p>女性の地域活動への参加は増えている。しかし、女性の自治委員の方は、未だに少ない状況である。</p> <hr/> <p>男女共同参画市民講座では、さまざまな取り組みができた。</p> <p>①の講座では、募集人員を越えるほどの申し込みがあり、幅広い年齢層の方々の交流ができた。</p> <p>②の講座では、男性の参加者も数名あり、地域で活動する若い協力隊との活発な意見交換を通じ、豊後大野市の魅力を再発見することができた。また、協力隊を市民で育てていくことや、地域活動への協力隊の活用などについて、広がりを感じるいい講座となった。</p> <p>③の講座では、伝統行事であるひな祭りに向けてひな飾りづくりをした。</p> <p>どの講座でも、開会前には男女共同参画社会の推進に係る話をする時間を設け、事務局から男女共同参画に関する施策や各種事業のお知らせや、協力依頼をした。</p> <p>転入女性のための交流会は、市外から転入して概ね3年以内の女性を対象とした交流会。若い方の参加が多く、仲間づくりができていたようだ。毎回参加者が固定化してきているので、募集方法などの見直しが必要。女性に限らず、男性（家族）での参加や、豊後大野市を知ってもらえるような内容も検討したい。</p>
----------------------------------	------------------------	--	-------------------------------	--	---

重点目標 2 地域における男女共同参画の推進	① 男女の地域活動への参画推進	<p>自治会やまちづくり協議会において男女共同参画の情報を提供する。</p> <p>男女が互いに支え合う地域社会の実現をめざして取り組む団体を支援する。</p> <p>講演会や講習会等における託児を実施し、男女がともに参画できる機会を提供する。</p>	地域創生課		
			まちづくり推進課	<p>【まちづくり推進課】</p> <p>7地域のまちづくり協議会において、地域の課題、地域資源を洗い出し「まちづくり地域計画書」を策定した。清川町づくり協議会は、さくら街道プロジェクトに着手し、他の協議会は、平成29年度より魅力まちづくりの実践活動に着手する。</p>	
	② 防犯、防災、環境の分野における男女共同参画の促進	<p>防犯、防災分野に女性の参画を促進し、地域防災体制づくりを推進する。</p> <p>防災、消防体制の充実を図り、女性消防団による火災予防啓発や救命講習等による地域への啓発を行う。</p> <p>地域における環境保全に向けた様々な取り組みに男女の参画を図る。</p>	支所	<p>【清川支所】</p> <p>清川町まちづくり協議会委員15名中3名が女性。 御嶽流神楽大会実行委員会32名中2名が女性。 きよかわ「彩」宝生寺の秋実行委員会34名中5名が女性。 以上の主な委員会組織の組織体制に女性が少ない状況であるので、各役員会で女性の参加を呼びかけている。</p> <p>【緒方支所】</p> <p>緒方町まちづくり協議会（構成男性5名、女性6名）では、まちづくりに女性の意見を大いに取り入れることができた。 また、緒方町地域人権教育・啓発推進協議会（構成男性7名、女性9名）でも、人権に対する女性ならではの意見を取り入れ啓発活動を行った。</p> <p>【朝地支所】</p> <p>朝地町人権を守る市民のつどいの際に、子育て中の方が参加しやすいよう自治会文書（班回覧）や音声告知放送で託児の実施について周知したが、申込者はいなかった。</p> <p>【大野支所】</p> <p>まちづくりの育成事業に女性に多く参加してもらうように声かけをした。（11名中3名）</p> <p>【千歳支所】</p> <p>千歳町まちづくり協議会委員14名中4名が女性である。</p> <p>【犬飼支所】</p> <p>犬飼町まちづくり協議会委員15名中4名が女性である。</p>	<p>【緒方町】</p> <p>一方、緒方町自治委員会は36名の委員で構成されるが、女性の登用は過去においてもない。一人でも多くの女性の自治委員が誕生するよう市をあげて取り組む必要がある。</p> <p>【朝地支所】</p> <p>若い世代の参加自体が少ないので、子育て中の方も安心して参加できるよう、託児実施の周知が必要。</p> <p>【大野支所】</p> <p>女性目線の意見が多く出ていたので、そのような視点を今後のまちづくりに活かしていきたい。</p>
			総務課 消防本部・消防署	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日に、安全安心パトロール連合隊、防犯協会、警察署、豊後大野市の合同で、市内一巡パトロール、防犯チラシの配布、意見交換会等を実施するなど、男女が共同して地域防犯活動に取り組んでいる。 ・自主防災組織の拡充、特に女性防災士の育成を各自治会に働きかけ、平成28年度に6名の女性が防災士の資格を取得し、市内の女性防災士数は57名となった。今後も女性防災士を対象としたスキルアップ研修等の開催を実施していく。 <p>【消防本部】</p> <p>防災・消防体制の充実を図り、女性消防団による火災予防啓発や救命講習等による地域への啓発を行う。</p>	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊後大野警察署管内の刑法犯認知件数は、平成28年が84件で、平成23年の125件と比較すると41件減少しており（減少傾向）、男女が共同して取り組んでいる防犯パトロール等の地道な活動によるものと考えている。今後も継続して実施していく。 ・今後も、防災士が男性しかいない地区には女性防災士の育成を自治委員会にてお願いし、更なる災害時の組織強化の推進を図る。
			環境衛生課	<p>環境衛生委員の各自治区への推薦依頼に際し、依頼文書に、女性登用の積極的な配慮について記載し、女性委員の推薦を促します。</p>	委員206名中女性委員37名委嘱。

重点目標3 国際理解の推進	① 国際理解のための学習機会の提供	講座等の開催により国際理解や交流を深める。	人権推進 同和対策課	実施なし	
			社会教育課	・中学生国際交流事業の実施。 7月～8月の訪韓・来日ホームステイに中学生18名が参加した ・国際キャンプの実施 10月15日～16日、小学生15名が参加した ・クリスマスおはなし会の実施	国際交流員と韓国とのホームステイ交流を行う「中学生国際交流事業」や外国人留学生や国際交流員とゲームや料理等の交流を行う「国際キャンプ」を実施することで、国際的な視野を広めることができた。 図書館では、クリスマスおはなし会を実施し、ALTの学生を講師に招き、海外のクリスマスの過ごし方を学んだ。
			まちづくり推進課	韓国文化講座、韓国語教室を開催し、高校生や大学生、一般市民の参加者にグローバルな感覚を身に付ける機会を提供した。国際交流講演会を開催し、市民へ国際理解を深める場の提供を行った。	
	② 外国人にも住みやすいまちづくりの推進	在住外国人に対する情報の提供および相談体制の充実を図る。	市民生活課	登録制度等に対する説明を丁寧に行う。	登録制度等に対する説明を丁寧に実施したことにより、外国人にも住みやすいまちづくりの推進や国際理解の推進ができた。
			税務課	事業としては行っていないが、在住外国人に関わらず、住民には広報・チラシ等での情報提供及び必要な場合は相談等実施する。	
			社会福祉課	在住外国人で日本語の理解が難しいと思われる方へ、子育て支援関係の通知が届くところに電話等で連絡をして支援した。	電話等で連絡をすることで申請につながっている。
			支所	【清川支所】 地域の中で外国人労働者を雇用しているが現在のところ問題はない。窓口や電話等で相談があった場合は情報提供に努める。	【清川支所】 相談なし。
				【朝地支所】 実際の相談はなかったが、支所内のカウンターに、相談窓口に関するリーフレットを配置して情報提供を行った。	【朝地支所】 実際に相談があった場合、適切に対応できるように、普段から必要な情報については、支所職員で共有する体制づくりが必要。
	【大野支所】 年金や住居等の相談が数件あった。制度の説明をわかりやすく行い、住宅・管財などの担当が現地等を案内し相談にのった。	【大野支所】 相談窓口があるということで安心して生活してもらえるのではないかなと思う。			
	③ 国際交流活動への参加促進	友好都市の訪問団受け入れ、訪問を通し、相互の市民交流を進める。	まちづくり推進課	【まちづくり推進課】 友好交流都市の韓国機張郡からホームステイ交流友好訪問団の受入や市国際交流協会の訪韓による国際会議を実施することにより、両地域の相互理解と今後の交流事業の継続と発展について確認することができた。 また、犬飼わか点国際交流会が主体となり、香港中文大学の学生10名のホームステイを2週間受け入れ、市内での体験活動等を実施した。	
【千歳支所】 地域の中で外国人労働者を雇用している事業所があるが、言葉も通じないこともあり、事業所を通じて情報の提供や相談体制を周知する。その他窓口や電話等で相談があった場合は、情報提供等に努める。在住外国人の方へ、出産・育児等に関する情報の提供や、相談体制を周知した。					
			【犬飼支所】 窓口や電話等で相談があった場合は情報提供に努める。	【犬飼支所】 相談なし。	